楽しい仲間

平岡町後援会ニュース

2020.10　日本共産党平岡町後援会　TEL425-3911　NO-258　部内資料

助け合う仲間

共産党議員団

くらし最優先の市政を！

2021年度予算要望書

日本共産党加古川市会議員団は10月27日、2021年度の予算要望書を岡田市長に提出します。コロナ禍から市民生活を守りくらし最優先の市政を求める24項目の要望をまとめたものです。

岡田市長（右）に要望書を手渡す、左から立花、高木、岸本各議員（写真は2019.10.16）

積立金を活用し、生活と営業を守るコロナ対策を

◆地域の公共交通の拡充をすすめ、循環路線やデマンドタクシーの創設など他の交通機関との整合性をはかり、市内を縦横に接続し空白地を無くすこと。

◆優待乗車パス券など低額料金制度を創設し、高齢者等交通弱者の安全な移動手段を確保すること。

市内全域から無料通院バスを

◆中央市民病院に於ける診療は、全ての患者に対し受け入れを行うこと。

◆市内全域から利用できる無料通院バス等整備すること。

粗大ごみ処理手数料の廃止

◆指定ごみ袋やごみ処理費の負担を市民に求めないこと

◆神鋼等による度重なる公害被害の実態を把握し被害救済を図ること。

◆公共施設の見直し、施設削減は、市民対話を広め、市民と将来のまちづくりの目標を定めること。

医療費の高校まで無料化 30人以下学級の実現を

◆子どもの医療費を高校卒業まで所得制限なく完全無料化すること。

◆障がい者、母子・父子家庭、乳幼児の入院時給食助成の実施。

◆教育条件の整備をすすめ30人以下学級の実施。

◆子どもの国民健康保険料均等割りは、減免や廃止をめざすこと。

空白地を無くす公共交通の拡充を

立花俊治の

飛び歩記

政権交代を考える

1年以内には必ずある総選挙で政権交代の可能性のエビデンスについて。

9月26日放送の志位委員長と小沢一郎氏とのTBS対談番組で「9月16日の首班指名選挙で134人が枝野幸男氏に投票した、野党共闘であと100人増えれば234人となり政権交代ができる」と発言しました。皆さんの感想はどうでしょうか?、

「できるに越したことはないが、信じられない」が率直に言って一般的な感想ではないでしょうか。ところがみなさん、前回選挙の小選挙区では、過半数の50％以下の得票で当選している自民党の国会議員が89名もいるのです。

前回選挙では民主党の分裂や排除の論理の希望の党が野党共闘を分断しましたが、共通政策と政権構想での一致がはかられれば既に89名に代わって野党統一候補が当選できる可能性が科学的に検証済みです。

わくわくする選挙にご一緒に挑戦しよう。

新型コロナから命とくらしを守れ

志位委員長　政府に緊急申し入れ

西村担当相（左）に申し入れ書を手渡す志位和夫委員長、田村政策委員長

国庫負担で検査拡大を

日本共産党の志位和夫委員長は2日、西村担当相に申し入れ書を手渡し、首相への要請の内容を伝えました。

①コロナ感染拡大防止の最重要課題として、検査と医療を抜本拡充すること

②雇用と事業を維持し、経済を持続可能にする政策を―コロナ危機を倒産と失業の悪循環に陥る恐慌にしてはならない

③未来を担う子どもと学生に、学びを保障し、生活を支える支援を

以上3点を政府に求めています。

会談で志位氏は、「政府は感染拡大防止と経済社会活動の両立というが、両立の最大のカギは検査と医療の拡充です。戦略的な検査の大規模拡大を強く求めたい」と要請。

また、「自治体の財政措置の負担が非常に大きい。全国知事会が要求しているような全額国費負担による検査を」要求。

西村氏は検査について「幅広くやることは大事だと思っています。全体として戦略的に大幅に拡充できるよう取り組んでいく」と述べ、検査費用の全額国庫負担についても「検討していきたい」と答えました。

消費税を緊急に5％へ減税

志位氏はまた、消費税を緊急に5％へ減税することを要求。同時に、現在、経営困難な中小企業に対しては、納税を免除すべきだと求めました。

西村氏は減税や免税は難しいとしつつ「中小企業支援策をどうしていくかを考えたい」と述べ、「全体を菅総理にしっかりお伝えします」と答えました

（10月3日付新聞赤旗）

制度解説　衆院選挙投票方法

比例代表は「日本共産党」と政党名を書きます

小選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。